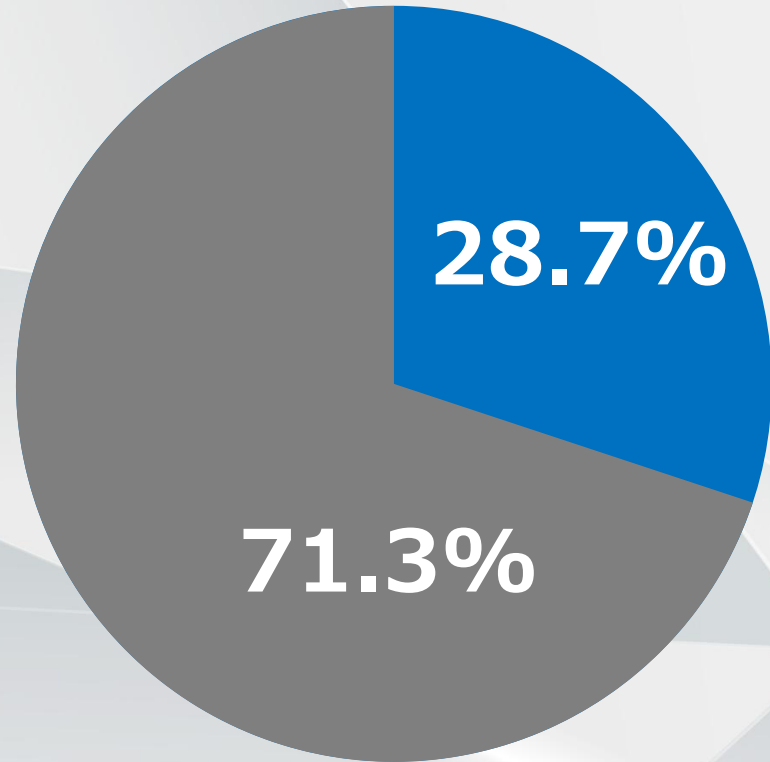


ChatGPTをマーケティングに活かすために リサーチから広告運用まで。5つの利用シーンと注意点

※講座画面

ChatGPTとマーケティングの現状



ChatGPTをマーケティングに...

■ 活用したことがある **28.7%**

■ 活用したことがない **71.3%**

※調査期間：2023/03/06～03/09

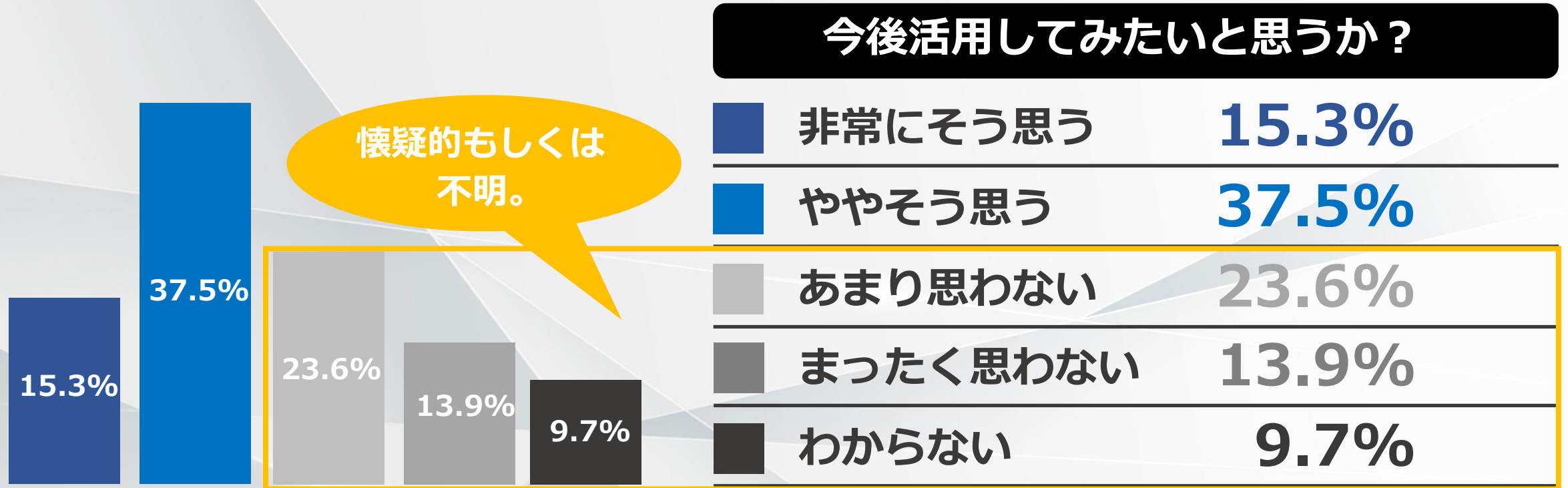
※モニター：企業のマーケティング担当者101名

株式会社Macbee Planetのインターネット調査によると、ChatGPTを知っている企業のマーケティング担当者のうち、実際にChatGPTをマーケティングに活用したことがあると回答したのは、**全体の3割弱**にとどまりました。

株式会社Macbee Planet
<https://macbee-planet.com/>

※講座画面

ChatGPTとマーケティングの現状



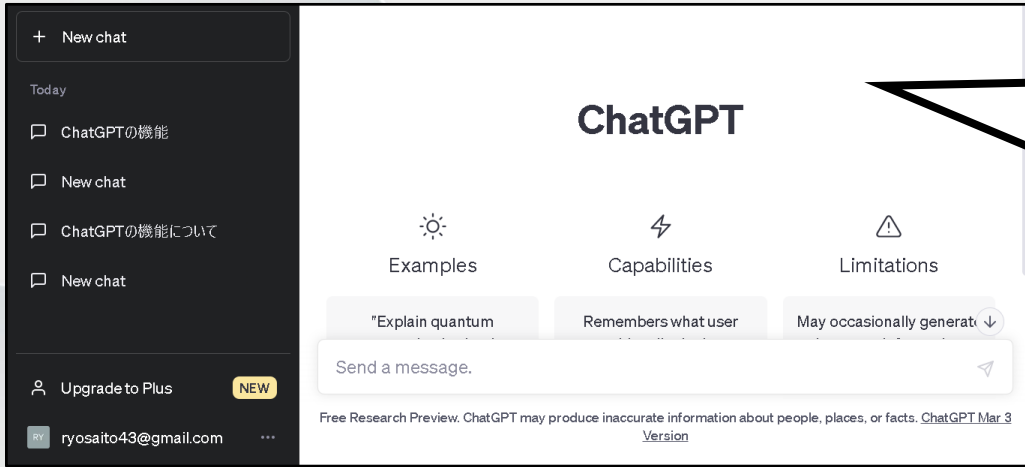
※同調査より

また活用したことがない人の今後については、全体の過半数をポジティブな回答が占めた一方、マーケティングにおけるChatGPTの活用に懐疑的もしくは不明という担当者も**4割弱**にのぼりました。

ChatGPTをマーケティング業務に活かすのは、難しいことなのでしょうか？

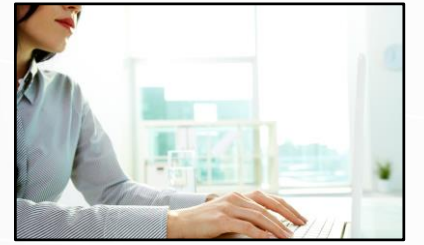
※講座画面

ChatGPTは有用なマーケティングツール。ただし…



- ✓ 情報の正確性を欠くことがある。
- ✓ データがやや古い（2021年9月まで）
- ✓ 著作権侵害や情報漏洩のリスクがある。

チェックや判断、調整が
不可欠。



ChatGPTはマーケティング業務の効率化・コスト削減に大きな効果を発揮します。ただし、上記のような弱点・デメリットがあるため、人の手・目によるチェックやジャッジ、調整が欠かせません。そういった意味ではあくまで**補助的なツール**です。

※講座画面

マーケティングにおけるChatGPTの利用シーン

1 リサーチ



ChatGPTには膨大なデータが蓄積されています。また、自然言語を用いるアウトプットも非常にわかりやすく、**市場調査や競合調査を効率的に行うことが可能**です。

その一方先述のとおりデータはやや古く、正確性を欠くこともあるため、より中立的・客観的な視点のソースとの突き合わせチェックは欠かせません。

具体的には、行政機関によるレポート、シンクタンクが公開している調査データを参照するのがおすすめです。

チェック・判断には

- 経産省の白書
- 矢野経済研究所などの調査データ
- Wikipediaなど非営利団体のWebサイト

※講座画面

マーケティングにおけるChatGPTの利用シーン

2 企画・構成



逆質問の例

 2023年秋冬ファッションのトレンド記事を書くために、必要となる情報を私に質問してください。

広告やコンテンツの企画を立てたり構成を決めたりする際は、ChatGPTに**逆質問**させるのが効果的です。

コンテンツに欠かせない要素や文脈、適したボリューム、取材の進め方など制作の大きなヒントを得られます。

ただしChatGPTが提示した要素や構成が既存の制作物と重なっている可能性は残るので、Google検索などでの**チェック**は忘れずに。

ロールやターゲットを盛り込むとより具体的に。

※講座画面

マーケティングにおけるChatGPTの利用シーン

3 記事制作



自然言語によるテキストの自動生成は、従来のチャットボットにはない、ChatGPTならではの機能です。

企画立案・構成の際と同様、プロンプトにターゲットやロールを盛り込んだり、temperatureを調整したりすることでさらに質が高まります。

自動生成されたテキストは、事実誤認がないかチェックしたうえで、**ラフ（たたき）**として利用しましょう。

情報が古い可能性も。
また著作権の観点からそのまま配信するのは
絶対NG

※講座画面

マーケティングにおけるChatGPTの利用シーン

4 SEO対策



テキストの自動生成とあわせて、プログラミング言語の記述もChatGPTの得意技の1つ。

パンくずリストの作成、メタディスクリプションの記述、内部リンクの生成といったテクニカル（内部）SEO対策は、いずれもChatGPTで行えます。

ChatGPTが作成したパンくずリストのソースコード。右上のボタンでコピー可能。

php

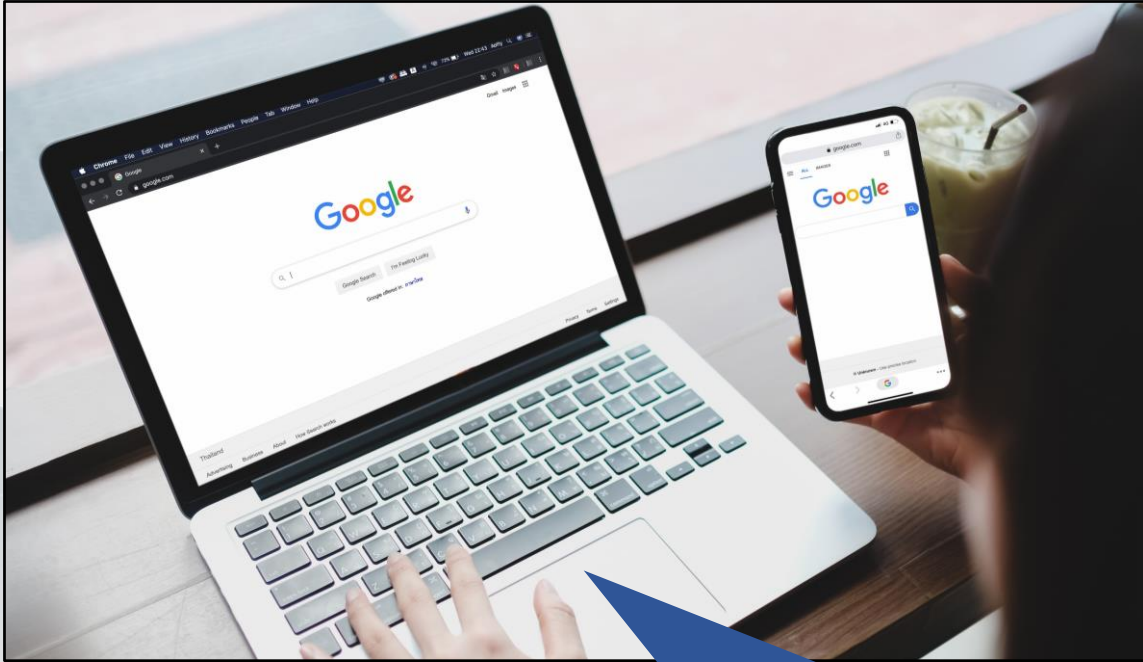
Copy code

```
<nav aria-label="breadcrumb">
  <ol class="breadcrumb">
    <li class="breadcrumb-item"><a href="#">トップページ</a></li>
    <li class="breadcrumb-item"><a href="#">レディースファッション</a></li>
    <li class="breadcrumb-item active" aria-current="page">ボトムス</li>
  </ol>
</nav>
```

※講座画面

マーケティングにおけるChatGPTの利用シーン

5 広告運用



ランディングページの情報をもとに**広告文を生成**したり、**キーワードをリストアップ**したりすることが可能です。

ただし、キーワードの検索ボリュームやクリック単価について詳細な情報は得られません。

また、Googleリスティング広告の場合、既にアセットによるクリエイティブ自動生成が主流になっていることを考えると、無理に利用する必要はないかもしれません。

キーワードプランナーなど
既存の運用支援ツールの方が使いやすいことも…

※講座画面

まとめ



ChatGPTはマーケティングの幅広い局面に役立ちます。

いずれにおいても大切なのは、あくまで補助的なツールとして運用すること。
この点をしっかり押さえて、コストや工数の削減につなげていきましょう。

※講座画面